

令和6年度 第1回庄内町振興審議会【会議録】

日 時：令和7年3月21日(金)19:00～20:45

場 所：庄内町役場B棟2F会議室2

出席者：門松秀樹会長、佐藤道子会長代理、梅木均委員、秋葉正一委員、大滝敬一委員、川井利光委員、
渡會正委員、渡部菜穂子委員、阿良直美委員、齋藤吉昭委員

(事務局) 樋渡企画情報課長、我妻企画情報課長補佐、伊藤主任

欠席者：齋藤克行委員、渡部幸雄委員

1 開 会 18:30 樋渡企画情報課長(進行)

2 町長あいさつ

第3次庄内町総合計画について、これからの10年間を見据えた基本構想となるため、委員の皆さんからご意見をいただいてより良いものにしていきたい。昨年の希望ミーティングでは20数名の方から意見をいただいている。また、町民アンケートやおおくんの学校にいろいろでは小学校や中学校に出向き様々な提案をいただいている。それぞれの立場の中での現場の声をしっかりと反映し、1つ1つ活かせるようにしていきたい。我が町にとってどういうことがメインとするかが肝である。基本構想の部分でしっかり押さえながらよりよい計画となるようにしていきたい。

3 会長・職務代理の選出

会長：門松秀樹委員・職務代理：佐藤道子委員

4 会長あいさつ

2024年は増田レポートという地方における人口減少、少子高齢化など、今後40年後の日本の問題点を指摘した報告書が出されてからちょうど10年となる。政府も地域活性化や地方創生など、状況改善に向けて対策を進めてきたことになるが、その効果があった地域、見られない地域などがあつたが、全体的には少子高齢化、人口減少がとまらない現状となっている。東北地方、庄内地方、庄内町にとっても喫緊の課題となっている。今回、第3次庄内町総合計画の策定にあたり、この庄内町にとってすぐに取り組むべき課題は何か、次の10年のために必要なことは何かなど委員の方から意見を頂戴したい。

5 諮 問

第3次庄内町総合計画基本構想について

6 協 議

(1) 各分科会の構成について

事務局：資料の確認、分科会構成について説明

(2) 第3回庄内町総合計画基本構想について

① 第3次庄内町総合計画に係る調査等の報告について

事務局：資料に基づいて説明

【委員】 アンケート本当にお疲れ様でした。アンケートを取るためには、設問から考えて非常に苦労されることだと思う。自分自身も集落でアンケートを実施したが、取りまとめについては非常に大変であった。今回のアンケートは、2,000人に送付し37.1%の回答ということであるが、【資料1】P4庄内町の住みよさについて、「交通の便が悪い」の各年代別の回答はどうなっているか。また、③の魅力については、自分の集落でとったアンケートでは20代と60代の回答内容に乖離がある。庄内町で買い物や済む方にと

っては便利であり不便はないと思うが、ファッション関係等、非常に流行りのものを求める若者にとっては仙台や山形などに出ないと不便だとなる。庄内町を不便であると思う、思わないかは人それぞれであり、一概にいうことはできない。その辺の中味について分かる範囲で教えていただきたい。

【事務局】 今回のアンケートの実施にあたり、働きようせいより支援をいただいているが、そこで取りまとめた報告書だけで130ページを超えるものとなっている。ただ今の年齢構成や居住地区などは把握することは可能であるが、アンケート結果のデータから個別に抜き出さないとすぐには対応できない。但し、傾向からすれば地区や年齢によって回答は違うものと認識している。今回紹介させていただいたのは、庄内町全体の結果ということで理解いただきたい。

【委員】 これから基本構想を考えるにあたって、60代以降の方より若い方を中心に考えていくことが必要である。買い物の便が悪いのは若者からの回答であると推察される。60年以上も住んでいるといいところだと思うが、これから住み続ける人にとっては、何か物足りない所があるなど、そういったところを考えていかなければならないと思う。また、人口減少問題にも触れられたが、自分の集落でも人口ピラミッドをつくった。60代が一番高く、小学生が各年代で2、3人しかいない。もう20年すると集落が消滅してしまう。そういったことを数字にして自分の地域に当てはめると非常に感じる人が多い。本当に人口減少については、切実な問題である。自治会などは役員のなり手もない状況であり、自治会も存続が厳しい状況である。

【会長】 今後事務局に用意いただく資料として、それぞれアンケート結果の回答について、例えば年齢別であるとか地域別にどのような回答が行われているのか、いろいろなところのデータを示していただき、地域ごと、年齢ごとに、どういったところに満足があるのか、どういったところに不満があるか、そういうところなどが見えてくるのではないかという意見をいただいた。今後の総合計画等々について検討を加えていく上で、特に若い世代がどういうところに期待しているのか、満足、不満があるか分析する上で有用ではないかと思う。今後そういう資料を改めて整理して作成いただくことになろうと思う。また、人口減少についても、庄内町の各地域地区の現状を、改めて把握をしていくといったような意見をいただいたと思う。

【委員】 【資料1】の6ページの(3)庄内町の生活環境や人間関係についてであるが、(5)の「自宅には心地よい居場所がある」についての設問は、家族関係がうまくいって自分の居場所があるなど、そういう回答を想定してのものか。おそらく、家庭について住環境はいいかということであろうと思うが。

【事務局】 この設問の意図については不明確なところがあるが、今回の町民アンケートについては、比較を行うため前回から引き継ぐ質問、あるいはウェルビーイングに関する質問も加えている。ウェルビーイングに関する設問であるかは確認が必要である。

【事務局】 先ほどの買い物についても同様であるが、人それぞれ感じ方があり、自分はこれでちょうど良くて幸せだと思う人に、同じ状態であっても不満だという人がいる。そういう幸福度という意味での質問だったと思われる。

【委員】 私もそう思う。車の免許があれば移動に不便はなく、返納すれば不便を感じる。免許返納した人であれば、交通機関に不便を感じる答えになるだろうし、返納しなければ買物は車で行くことができ、満足度は高いと考える。それぞれの立場や年代、地域性もその1つである。立川地域に住んでいて買い物が不便であることから余目地域に家を建てようとする方も結構いる。町全体でみると変動は少ないにしても、集落単位で見ると減少となり、その後は空き家に問題に発展する。現実はそのように感じる。空き家問題は、それぞれの自治会や集落でどうにかしなくてははいけないし、現実はそうなっている。10年、20年前であれば、家族も4、5人いたが、今は1、2人である。自分の集落の人口は154人ぐらいであるが、60歳以上が71人、70歳以上になると50数人であり、0歳の子どもが1人いるだけであとは小学生が2人、あとは全然いない状況である。人口ピラミッドのバランスが崩れて集落が消滅してしまう。結局、空き家問題に付随して住みよい町であると答えたとしても場所によって違うと思う。

【事務局】 (5)「自宅には心地よい居場所がある」は、まずはこのとおりに読んで理解いただきたい。

【委員長】 この件に関して、さらに詳細なデータが必要であるということであるか。

【事務局】すべての設問に対して、地区別、年代別に結果と出すことは難しい。町民アンケート、中学生アンケート以外に、庄内総合高校の生徒さんに対して別途アンケートを実施している。ただ、庄内総合高校の生徒となると、町外の方以外に近隣の市町から通っている方もいる。また、町長の挨拶でも触れられたがとおるくんの学校へ行こうという事業では、町長が小学校、中学校を訪問し、直接生徒の方から意見をいただくということで令和5年度より実施してきた。

【事務局】庄内総合高校の授業の中でも、人口減少を取り上げた山形新聞の記事を受けて、選択授業の中でグループワークを行い、こういう町であってほしいなどの意見を聞いている。

【委員】庄内総合高校に通う生徒のうち町内の方が何人いるかということもある。中学校であれば、2つあり地域性もある。酒田市や鶴岡市は商業的なところであり、町には大型店舗もなく生活環境の違いもある。将来的なことを考えるのであれば20代は東京、他県に出ていく比率が高くなる。ここ最近うちの集落では地元に残る、最初からいかないという人もいる。但し、勤め先は酒田市や鶴岡市となり、町への就職が少ない。働き先が少ないことに問題がある。若い人の要望としては、町に企業を誘致してもらいたい。企業を誘致すれば人口も増えるし、家族連れで来れば若い子どもの幼稚園や学校に行くことになり、税金も納めてもらうことができ、買い物もする。そういう意味では三川町は大型店舗や空港もあり、地理的にも恵まれている。

【委員】先ほどの説明によると、マトリックスでみると教育文化がいいところにある。庄内町の方は優秀であり、いい学校に行ってしまうと地元に残る人が少なくなる。確認となるが、資料2の中学校アンケートは、調査方法がWebによる配布、回収とあるが、中学生は端末をもっているということか。

【事務局】1人1台、町が貸与している。

【委員】全員個人のもので回答したと勘違いした。また資料3のP9の子育て支援体制の充実で、本町に小児科があると書いてあるが余目病院のことだとすると、予約制で常時空いているわけではないのでは。

【委員】現在は、常時開院している。

【委員】小児科が欲しいという要望があったので、そこは理解した。

② 第3次庄内町総合計画基本構想（素案）について

事務局：資料に基づいて説明

【委員】第2次庄内町総合計画をみると、庄内町の人口の目標を10年前に立てたと思うが、平成27年のその時点で2050年の庄内町の予測した人口は13,951人とある。今示された数字を見ると、2050年で10,773人になるのではないかと。ここですでに4,000人、3,000人の違いがあり、庄内町が予測した人口減少をはるかに超えている。庄内町の予測と社人研推計とが異なっており、今後も予測した数字がさらに下回る、あるいはよくはならないと思う。移住定住等に力をいれて頑張ったとしてもそんなに増える要素がないというところで、もう少し人口が減るのだというところを大前提に考える必要がある。人口が減り、その時ちゃんと町が回るように計画していかないと、10年後大変なことになるのではないかなというところを、ちょっと考えていただきたい。先ほど企業誘致という話があったが、それが本当に正しいのかとずっと疑問に思っている。ベッドタウンという構想も以前あったと思う。住み心地が良い町という考え方もあって、酒田や鶴岡などの企業も近い。税金等は別として、ここに住んでもらうということを考えて働くところがこんなに近くにあり、通うことができると思う。学校もこれから先どんどんこも減っていくので、庄内全域を考えた町作りをしていかないと、地域はつながっていかないのではないかなと個人的に強く思っている。

【事務局】第2次庄内町総合計画では、19,000人という目標設定をしているが、各自治体の総合計画においても人口と設定しているところが多いながらも、別の将来的なものを設定している自治体もある。酒田市では市民所得を目指す姿としていたり、様々なやり方がある。現状として、人口を増とさせることは難しい状況であり当時の考え方はできるだけ減少を抑制するというものであった。出生数では、昔は100人というラインもあったが現在では、100人を切るペースとなり80人くらいで推移しており、そのような中で150人という数値が目指せるかである。総合計画以外に総合戦略というのがあり、令和8年

度からの計画に向けて来年度見直しする予定としているが、人口増に向けてはくらしやしごとなどそういう視点でその計画で具体化していく。基本計画に関連する内容もあるので是非そういったところでも意見をいただきたい。

【委員】計画策定する場合は、現状分析やアンケートをおこなっているが、10年前と比較してどういう分野がどのように変化したなど教えてもらうことは可能か。また人口が減ったらどういうことが想定されるなど参考とするものがあれば教えていただきたい。

【事務局】1点目の第2次計画期間内においてどのような変化があったかであるが、計画にはベンチマークという目標値が設定されている。その進捗の管理については昨年度の振興審議会でも報告している。2点目として、人口減少が続くとどうなるかであるが、県内には本町より少ない町も多くあり、当然それに見合う規模となる可能性もある。

【委員】抽象的なものではなく、現在でも具体的な話が出ている。小中学校の統合などすでに進行している話があることは理解している。

【委員】例えば、商業において今後そのくらいの人口になったらどうなるとか、その中で町民の方を満足させていくにはどうすればいいかなどもある。そこが分からないとみんなの満足をはかることはむずかしい。優先は、安全・安心が中心であると思うがそれをどのように計画に盛り込んでいくかという点で分からないところがあったので。

【会長】次回の審議会に改めて追加資料を示していただきながら意見を伺っていききたい。今後の総合計画でどのような歩みをつくるかとなるが、改めて基本構想について議論いただきたい。

(3) その他

【委員】今日は午後7時からの開会であったが、今後もこの時間帯での会議の開催となるのか、予定等があれば教えてほしい。

【事務局】次回の開催は3月28日（金）の19時からで予定としているが、日中に行いたいということであれば可能な限り対応はしたい。

【委員】会議については、時間内で話をまとめてほしい。発言等もある程度制約しながらでないと2時間は長い。会議の開催は夜であれば都合はつくものと思う。

【事務局】今日は、前半のセレモニー的のものがあり、説明も長く申し訳なかった。

7 その他

(1) 今後のスケジュールについて

<第2回>

○庄内町振興審議会 3月28日（金）18:30～ 庄内町役場B棟会議室2

8 閉会 20:45 樋渡企画情報課長（進行）